

事務事業チェックシート

事務事業No 118 事業名 不法投棄対策事業

[事業基本情報]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	4	循環型社会の形成
基本方針	2	一般廃棄物の適正処理ができる体制の確保

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		清掃費	
	目		清掃総務費	
	大事業		清掃総務事業	
事項		不法投棄対策事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	一般廃棄物課	梶本 陽司 (435-1352)	
関連課	産業廃棄物課・収集センター北事務所		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市民と行政が、良好な環境を保つため、不法投棄の監視・啓発を行う。	人目に付きにくい山間等の不法投棄の常習地域を重点的に、市民ボランティアパトロール員及び行政が日常的にパトロールを行い、不法投棄の防止、早期発見に努める。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		不法投棄の常習地域に1枚の不法投棄防止啓発看板を新たに設置した。 自治会用不法投棄防止啓発看板を38枚提供した。 不法投棄ボランティア監視員を募集するとともに、不法投棄監視パトロールを364回実施した。	不法投棄の常習地域に1枚の不法投棄防止啓発看板を新たに設置した。 自治会用不法投棄防止啓発看板を52枚提供した。 不法投棄ボランティア監視員を募集するとともに、不法投棄監視パトロールを404回実施した。	不法投棄の常習地域に1枚の不法投棄防止啓発看板を設置する。 自治会にも啓発看板を提供。 また、不法投棄ボランティア監視員を募集するとともに、パトロールを行う	不法投棄の常習地域に1枚の不法投棄帽子啓発看板を設置。 自治会にも啓発看板を提供。 また、不法投棄ボランティア監視員を募集するとともにパトロールを行う。	不法投棄の常習地域に1枚の不法投棄帽子啓発看板を設置。 自治会にも啓発看板を提供。 また、不法投棄ボランティア監視員を募集するとともにパトロールを行う。

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	2,499	1,127	3,632	1,562	3,865		3,865		3,865		
	伸び率 (%)	-	-	45.3%		6.4%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	8,285	5,419	5,419	4,735	4,735		4,735		4,735	
		非常勤職員	4,665	2,649	2,649	2,154	2,154		2,154		2,154	
		小計	12,950	8,068	8,068	6,889	6,889		6,889		6,889	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
一般財源 (税等)	2,499	1,127	3,632	1,562	3,865		3,865		3,865			
所要人数	常勤職員	1.12	0.71	0.64	0.64	0.64		0.64		0.64		
	非常勤職員	2.38	1.29	1.14	1.14	1.14		1.14		1.14		
主な予算内訳		消耗品費 650千円、廃棄物等処理委託料 746千円 等										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	不法投棄監視パトロール回数					年度目標値	247	243	243	243	243
						実績値	364	404			
	単位	回	全体目標値	1,219	全体目標達成度	63.0%	年度別達成度	147.4%	161.0%		
						年度目標値					
						実績値					
単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					
成果指標	不法投棄処理件数					年度目標値					
						実績値	377	185			
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				
						年度目標値					
						実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	不法投棄対策は、現在までのところ一定の効果は出ていると考えられている。特に家電4品目の処理については、処分する前にリサイクル券を購入しなければならないことからそれらが不法投棄される際に外の廃棄物も一緒に投棄されることも考えられるが、更なる啓発、パトロールにより防止対策をすすめていく。
「見直し」 「改善」案	市民ボランティアパトロール員及び行政が更に協力し、パトロール強化及び啓発に努める。また悪質な不法投棄については、警察等に報告し、協力を求める連携を図る。